



あけましておめでとうございます

皆様明けましておめでとうございます。今年は羊年ですがはやいものでNPO法人設立後12年目になりました。

羊は群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされ、また「未」という字には、未来、未熟、未明、未満などのことばがあります。CTF松阪も着実に歩いていく年にしていけばと考えています。

今年も皆様にとって良い一年となりますように。



津ヨットハーバーよりの日の出

会員スキルアップ研修会開催

12月22日会員スキルアップ研修会が開催されました。講師はユニバーサルデザイン「夢現」の大戸房子様で、バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを判りやすく教えていただきました。

段差の横にスロープを付けたり階段に手すりを後から付けたりするのはバリアフリー化、建設・建築当初からそれらが在るのがユニバーサルデザインです。

これらはハード面のことですが、座席を譲ることや優しく声掛けするのはソフト面です。ソフト面では誰にでも出来るユニバーサルデザインでもあるのでぜひ実践していきましょう。

なお次回スキルアップ研修会は1月19日、26日です。皆様のご参加お待ちしております。



大戸講師によるスキルアップ研修会

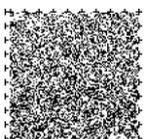


最近松坂城址をぶらつくことも少なくなりましたが、久しぶりに登ってみました。昔(1946年頃)から気になっていた所がありました。

一の丸の上段の城址の少し下で、南西の方の梅林のある所です。私が松坂へ移ってきてすぐにこの城址に登って見た風景が、今とはすごく変わっていることです。昔は梅林があったか?どうか分からないのですが、今梅の木は20数本ありますし、昔は木製の小屋みたいなトイレがあったのも、どのあたりだったか分からぬ程に変わっています。

昔は中学生がトイレの前に順番待ちしていたのを思い出します。きれいになって昔のおもかげがなくなってしまい、残念なことです。

ex: JR2EJT



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。

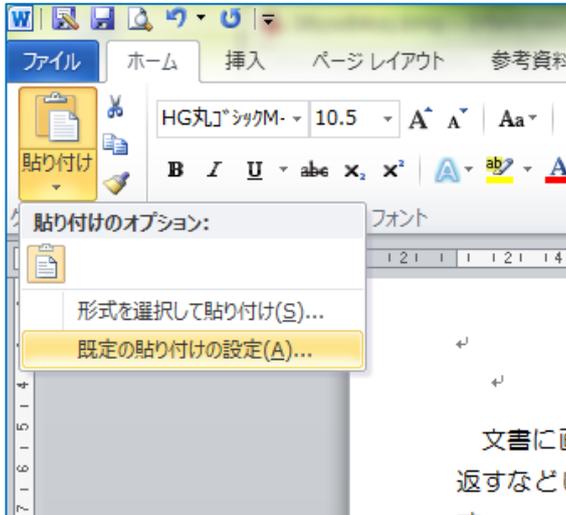


Word 画像貼り付け時のトラブルを最小限にする



文書に画像を張り付けした時、画像がいきなり消えることや、あらぬ位置に挿入され何度もコピー貼り付けを繰り返すなどした経験があると思う。そこでここでは貼り付けした画像が消えないようにする方法を紹介する。

画像貼り付け形式の初期値は通常「行内」になっており、このため画像貼り付け時にレイアウトが崩れる。そこで貼り付け形式を「前面」にしておくことでレイアウトの崩れを防止する。

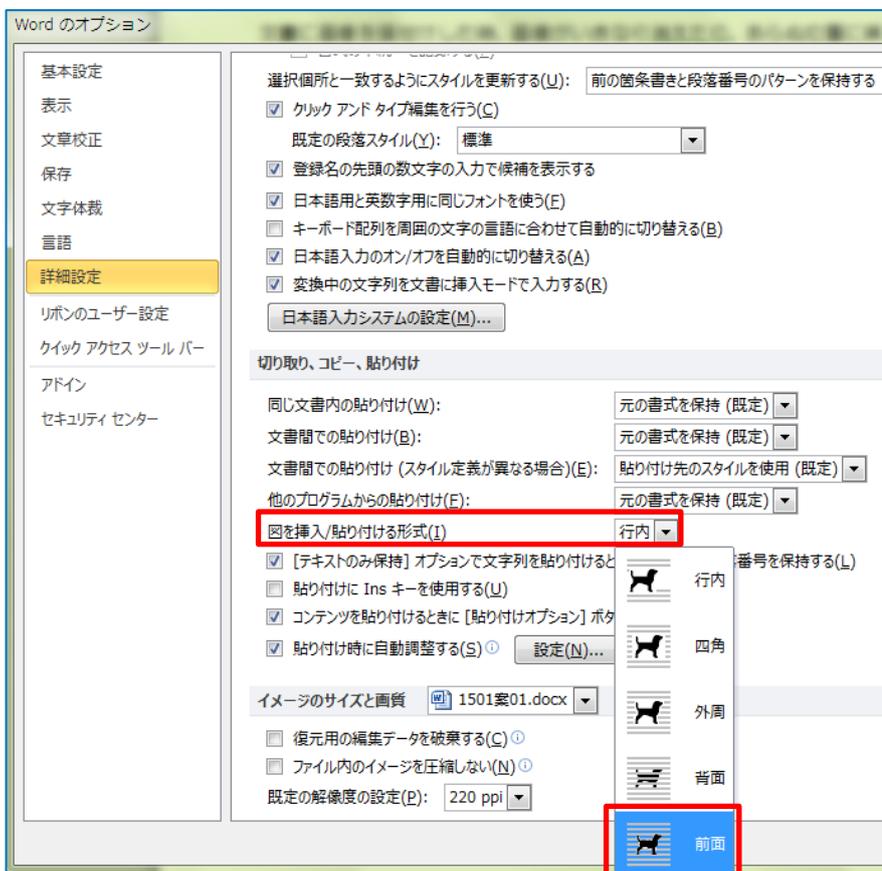


1. [ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [貼り付け] の▼をクリックして [既定の貼り付けの設定] を選択する。

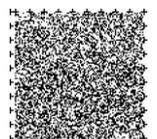
2. [Word のオプション] ダイアログボックスの [詳細設定] が表示される。[切り取り、コピー、貼り付け] グループにそれぞれ設定が行える。

3. 「図を挿入/貼り付ける形式」でダイアログボックスが表示されたら、「前面」タブをクリックする。

4. 「OK」をおしてオプションを保存する。



本年もよろしく
CTF 松阪



活動報告

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(16日)

ITサポート訪問

(1日、3日、15日、23日)

従事者スキルアップ研修会

(22日)

活動予定

【1月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

6日、13日、20日、27日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

従事者スキルアップ研修会

19日、26日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

松阪の川と橋

松坂大橋

松坂築城の頃(1580年代)に蒲生氏郷が三渡川に架かる三橋の内、笹尾橋を移したのが最初の橋であるそう。

江戸時代には長さ約44m・幅約6mの木橋で、文政9年(1826)に初めて擬宝珠が付いたそう。

大橋が今のように邪気を払う朱に塗られたのは平成12年からでな、コンクリート橋になってから擬宝珠が小さくなったんじゃが、以前の木橋当時の擬宝珠は城址内の歴史民族資料館に保存されているんじゃよ。

阪内川は平成の大合併までは水源地(白猪山)から河口まで松阪市であった事から2級河川としてかなり有名だったんじゃ。

大橋を渡った西之庄の「わかや」さんで「ミニひつまぶし」をほりこみましたんじゃ。これがまた美味しいんじゃな。



堀坂山を背景に阪内川に架かる大橋



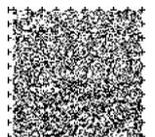
大橋の擬宝珠



うなぎの「わかや」



ミニひつまぶし 2,280円



今月は、CTF 松阪主催のパソコン講座等の講師としてご活躍の A.K 様からご投稿をいただきました。

川-随筆

140

「松阪の第九」を歌う

A.K

昨年(2014年)12月14日「クラギ文化ホール」でベートーベンの交響曲第九番を170名ほどで唄いました。私たちが歌うのは、第四楽章“歓喜に寄せて”の部分ですが、此れが大変です・・

今回四回目ですが、なかなか原語のドイツ語の発音が上手くいきません。そうして楽譜は見ないで暗譜です・・私も四回歌っているのですが、中々上手く出来ません。最初はピアノ2台で第四楽章のみでした。やっとスタート台に立ったという感じでした。二回目は今回と同じ伊勢管弦楽団のオーケストラと一緒に歌いましたが未だスタート台の2段か3段目でした。3回目は少し慣れてきて三重フィル管弦楽団でした。それでもまだまだでしたが、それが今回四回目、少し上達したと皆さんの温かい感想を頂きチョット嬉しかったです。

年末の「第九」と云われそれぞれの所で演奏されています。日本人にとって昨年のように災害が多かった年は心に残る「第九」が多く演奏されたみたいですね。

この曲第九は「愛」がモチーフみたいです。

第一楽章は父の愛

第二楽章は兄弟姉妹・友達の愛

第三楽章は母の愛

第四楽章は人類への愛

と訳されていました。「世の中が平和で、喜びに満ちた世界でありますように」と小さな私達の願いを込めて松阪から第九“歓喜に寄せて”を歌いました。

今年も12月13日に中部フィル管弦楽団で「松阪の第九」が演奏されます。皆さんも参加しませんか？歌うって結構楽しいですよ・・なんでも参加しなくてはダメよ～ダメダメ(*^_^*)です。一年が穏やかな年でありますように願っています。



編集後記



一年が始まります。楽しく沢山の人たちにCTFの講座が利用して頂けることを祈っています。一月は一番寒い月です。暮れの寒さが身に沁みました。皆さん元気ですか。本年もよろしく願いいたします。



CTF 通信第 142 号

2015年(平成27年)1月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

